

【第2回 大空町廃棄物減量等推進審議会 資料】

「ごみ処理施設整備の検討についての住民説明会」の開催結果について

1. 説明会開催場所・日時

- ・場所 東藻琴農村環境改善センター
- ・日時 令和4年9月22日（木）
- 昼の部 午後2時00分から 参加人数 6名
- 夜の部 午後6時30分から 参加人数 11名 計17名

2. 説明会趣旨

現在、大空町では3つの施設で「ごみ処理」を行っています。「燃やすごみ」は焼却処理施設で焼却し、「燃やせないごみ」は最終処分場に埋立、「資源物」はリサイクルセンターで再資源化を図るための処理をしています。

最終処分場の埋立て期間は、稼働開始から15年を経過した平成31年3月までとなっていました。町民皆さまの分別のご協力もあり満杯になるまで8年から10年ほどを見込める状況にあります。

焼却処理施設は、昭和59年に稼働を開始してから37年が経過し、平均的な使用年数である30年を既に超えています。大規模改修からも18年が経過し、設備機器の故障や修繕経費の増加のほか、施設自体の老朽化といった多くの問題が見られるようになりました。

このような状況の中、新しい施設整備について、将来どのように検討を進めていくことについて、町民説明会を開催しました。

3. 説明の概要

- (1) 本町におけるごみ処理施設現状及び広域処理の経過
- (2) 斜網地域各自治体のごみ処理の現状
- (3) 次期焼却処理施設整備に係る協議経過
- (4) 次期焼却処理施設整備に係る周知状況
- (5) 次期焼却処理施設整備候補地の提示
- (6) 次期焼却処理施設整備に係る可燃ごみ量の推計及び焼却炉の規模
- (7) 次期焼却処理施設整備概算事業費の負担金額
- (8) 広域化のメリット・デメリット
- (9) 公害等対策
- (10) 施設整備に係る想定スケジュール
- (11) 先進地焼却処理施設の紹介
 - ①北海道遠軽町（えんがるクリーンセンター）
 - ②愛知県名古屋市（名古屋市富田工場）の施設紹介動画を上映

4. 質問・意見等 別紙「資料1」のとおり

5. 結果の周知

広報おおぞら11月号、大空町ホームページにて開催結果について掲載